

中央公民館

- ・銀座の紙ひこうき (はらだみずき)
- ・戦国十二刻始まりのとき (木下昌暉)
- ・罪の轍 (奥田英朗)
- ・犯人に告ぐ・3 (栗井脩介)
- ・落花狼藉 (朝井まかて)
- ・ガラスの城壁 (神永 学)
- ・店長がバカすぎて (早見和真)
- ・飛雲のごとく (あさのあつこ)
- ・熱源 (川越宗一)
- ・伊勢佐木町探偵ブルース (東川篤哉)
- ・決断の刻 (堂場瞬一)
- ・絶声 (下村敦史)
- ・命あれば (瀬戸内寂聴)
- ・ヒールをぬいでラーメンを (栗山圭介)
- ・震える天秤 (染井為人)
- ・落日 (湊かなえ)
- ・夢見鳥 (中村吉右衛門)
- ・児童書
- 「おみせやさんでくださいな」
- 「からっぽマヨネーズ」

※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

衣奈会館

- ・笑え、シャイロック (中山七里)
- ・酔芙蓉 (篠 綾子)
- ・とむらい屋颯太 (梶よう子)
- ・旧友再会 (重松 清)
- ・いるいないみらい (窪 美澄)
- ・むらさきのスカートの女(今村夏子)
- ・愛が嫌い (町屋良平)
- ・待ち遠しい (柴崎友香)
- ・希望の糸 (東野圭吾)
- ・夏の騎士 (百田尚樹)
- ・児童書
- 「こども六法」

白崎会館

- ・いけない (道尾秀介)
- ・てんげんつう (畠中 恵)
- ・本所おけら長屋(十三)(畠山健二)
- ・流星のソード名探偵・浅見光彦VS 天才・天地龍之介 (柄刀 一)
- ・十津川警部追憶の ミステリー・ルート (西村京太郎)
- ・クックパッド☆栄養士のれしぴ
- ・児童書
- 「はじめてのたんじょうび」
- 「できなかつたって、いいじゃないか」

【秋号・クイズ】

現在、由良町には小学校が3校、中学校が1校設置されていますが、今から64年前の昭和30年には、小学校の本校が4校(由良・畑・白崎・衣奈)と、2つの分校(小引・三尾川)がありました。当時は、戦後の第一次ベビーブームが起きた、昭和22年〜24年(団塊の世代)に生まれた子ども達が小学校に入学して、どの学校も活気がありました。

さて、その昭和30年当時の由良町の小学生、中学生はともに何人だったでしょうか。なお、令和元年の由良町内の小学生は263人、中学生は114人です。

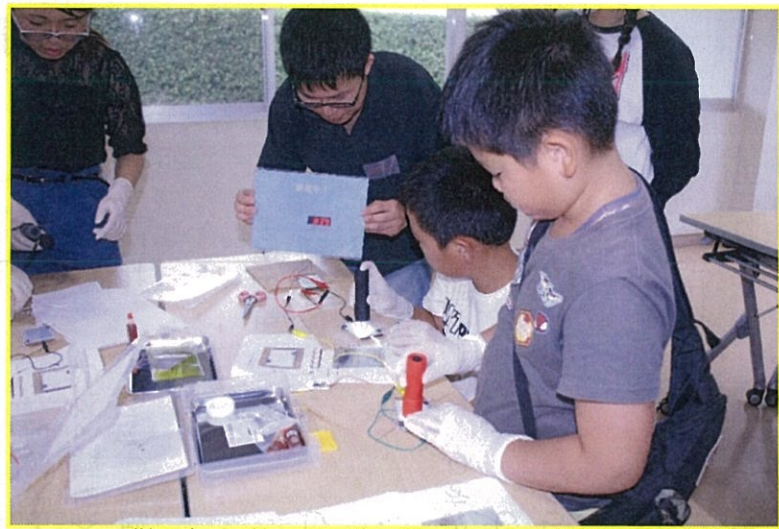
- |     |            |            |
|-----|------------|------------|
| 小学生 | (1) 520人   | (2) 860人   |
| 中学生 | (3) 1,130人 | (4) 1,450人 |
- (1) 277人 (2) 458人  
(3) 610人 (4) 776人
- (回答は、裏面に掲載しています。)



由良町公民館だより  
2019 秋号  
令和元年10月1日

- ・中央公民館(日高郡由良町網代 248-12 TEL65-2418)
- ・衣奈会館(日高郡由良町衣奈 765-7 TEL66-0921)
- ・白崎会館(日高郡由良町吹井 910-2 TEL65-3510)

夏休み、大学生との交流



《摂南大学の子ども講座・太陽電池の実験》

8月23日(金)、中央公民館において、夏休み最後の子ども講座を開催しました。当日は、摂南大学の学生が講師になり、ワカメやナスなどの野菜から電気を作る実験を行いました。光、水、風などから電気を作るのではなく、様々なものから電気ができることに、子ども達から驚きの声があがりました。

翌日の土曜日は、3館で毎週開催している「子ども未来塾」で、小学生たちに物を作る楽しさや勉強の大切さを教えてくれました。



《神戸大学落語研究会の衣奈寄席》

8月24日(土)、衣奈会館において、神戸大学落語研究会による衣奈寄席が開催されました。

学生による落語と大喜利が行なわれ、合宿の成果を発揮し、地元の方々に発表しました。

当日、大勢の方が来館され、学生の一生懸命な熱演に、笑いが絶えず和やかに楽しい一日を過ごしました。

公民館では、今後も地域の方々や子ども達に楽しんでいただける事業や講座を用意していきますので、積極的に参加してください。



〔10月～12月の行事予定〕

【中央公民館】

\*文化展

10月26日(土)から  
11月3日(日)まで

\*山野草展示会

11月16日(土)  
17日(日)

\*芸能発表会

11月23日(土)

\*人権講演会

12月1日(日)

\*チャリティカラオケ

12月14日(土)

\*クリスマスコンサート

12月開催

(参加者募集しています)



クイズの解答

小学生(4)1,450人  
中学生(4)776人  
昭和30年当時から、小学生は18%に、中学生は15%に減少しています。

【夏休み子ども講座】



【ふうりん作り】



【由良町を知ろう、戸津井鍾乳洞】



【楽しい絵をかこう】



【茶道、お点前体験】



【クッキング】



【歩く象工作】



【実験、太陽電池を作ろう】

【短歌】

梅雨の雨降りみ降らずみホーとして寄り来し窓を小鳥よぎれり  
戸を練れば朝のさ庭にガーベラの赤き一輪風に揺れをり  
わが家事を二十六年支えくれしオープンレンジつひに動かず  
孫来るを楽しみ夕べの厨にて好物あれこれ食卓に並ぶ  
街路樹の根元を囲むポーチュラカ色とりどり風にさゆらく  
電線に数羽の子つばめ雨風にゆられゆられて語らふごとし  
われ今だ令和の元号に馴染めずに昭和の世代をなつかしみをり  
葉桜の木の梢に鳴き交はすホトトギスの声鶯の声  
舞妃連の極まる白に見惚れつつ上皇后の面輪顕ちくる  
キウイ畑にどくだみの花芯立てて小雨降る中そのみ白し  
久方に正座し生くる花菖蒲八十路も近き午後ひととき



【俳句】

鈴虫の突然鳴きし寢床かな 伊藤秀一  
稲の花咲くなと願ひ時化に籠る 上本郁子  
列車過ぐ向日葵東向きしまま 大野おさむ  
大花火夜空大きく掴み取る 片山綾子  
行間にもう秋の声句集「ゆら」 北岡ゆみ  
汗をかき終生学ぶこと多し 小山ひとみ  
暮れてなほ大地のほてり盆の月 坂田妹子  
草木の陰に移りし雨蛙 高橋義巳  
おさな子は空と交信せず虫鳴く 竹中桃代  
子ら去にて花火の匂ひまだ残る 田淵佳根  
一筋の新涼に触る水辺かな 西川初枝  
ひらひらと浅黄斑の草隠れ 広瀬峰雄  
秋うらら句集上梓の祝の句座 山下治子  
花火の夜遠い人家の疎らな灯 吉村美恵子  
なかなか沈まぬ夕日百日紅 柳岡百合江

【川柳】

大茶碗父の茶碗が威張ってる 井口きよみ  
お食べ初め小さい茶碗願い込め 磯寄美千代  
満足と腹が言ってる太鼓腹 井上充明  
ダイエツト夕食時間に茶碗なし 門田明美  
楽茶碗枯淡な色に癒される 貴志治郎  
名月が神々しくて父母みたい 木下キミ代  
ばあさんも茶碗持ちます朝の膳 五嶋恭子  
茶碗むし母の自慢の料理です 高橋義巳  
俺おまえ茶碗と箸のようなもの 田代豊子  
お替わりの茶碗が踊る成長期 谷中克己  
食事時きちんと並ぶ箸茶碗 中口小夜美  
茶碗むし美味しく食べて満腹に 中崎美子  
お気にいりお茶碗買って食進む 中崎文香  
お祭りで騒いで楽し茶碗酒 西川美代子  
茶ダンスで仲良く並ぶペア茶碗 宮井正子  
誕生日小豆ごはんお茶碗で 山崎安子  
相方が欠けても夫婦茶碗です 山下きよみ  
茶碗わり旅行く先は何処かな 平石敏弘

『会員募集中』

中央公民館・衣奈会館・白崎会館では  
様々なサークル活動を行っています。  
今回は、「川柳ゆら」を紹介いたします。  
川柳ゆらは18名の会員で、毎月第二土曜日  
の午後一時から午後三時まで、中央公民館で  
お喋りをしながら、仲良く作品作りを行って  
います。作品は、ゴールデンウィーク展や文  
化展、新聞などに展示しています。

川柳とは、五・七・五で表現されますが、俳  
句とちがひ季語や切れなどの制限がなく、人  
間を詠う詩です。普段、皆が話したり書いた  
りしている言葉で、思った事や感じた事を自  
由に表現できます。面白いたとえやユーモア  
を入れる事で、秀逸すぎる「サラリーマン川  
柳」がブームとなりました。  
興味のある方は、初めての方でもどうぞお  
気軽にお越しください。

お問い合わせについては、  
代表 谷中克己  
(電話)65-2525

または、中央公民館  
(電話)65-2418

までお問い合わせください。

